

# 「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成30年 6月 1日

仕事の内容	先天性風しん症候群対策事業				
担当部署・課長名	健康課	課	予防	係	課長名 志村 明子

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。

【施策】 保健・医療の充実

(総合計画書 47 ページ)

予算名	款 4 衛生費	項 1 保健衛生費	目 2 予防費	事業 1 予防事業費
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 19歳以上の市民で、妊娠を希望している女性			① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) ① 新規抗体検査申請者数 ② MR予防接種申請者(自己抗体検査者)数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 妊娠中の風しんの感染を防止するため、妊娠前に風しん抗体を保有する。			② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) ① (抗体保有者+低抗体価による予防接種者)/抗体検査申込み者 ② MR予防接種実施者数/予防接種申請者(自己抗体検査者)数
	③ そのために何をしましたか。 ① 抗体検査申請者への抗体検査(委託) ② ①で低抗体価だった方へのMR予防接種(委託) ③ 自分で受けた抗体検査で低抗体価だった方へのMR予防接種(委託)			③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ① 抗体検査 受検者数 ② ①の内、MRワクチン接種者数 ③ 自身で受けた抗体検査で低抗体価だった方のMRワクチン接種者数

2 指標の推移		単位	平成27年度実績	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度目標	平成31年度目標	
	対象指標	①の数値	件	① 71 ② 137	① 104 ② 91	① 60 ② 74		
	成果指標	②の数値	%	① 100.0 ② 89.8	① 100.0 ② 90.1	① 100.0 ② 79.7		
	目 標	②の目標値	①%			100	100	100
		目標値設定の考え方	本制度の申請者について、接種率100%となるよう勧奨する。					
	活動指標	③の数値	①件 ②件 ③件	① 71 ② 19 ③ 123	① 104 ② 39 ③ 82	① 60 ② 32 ③ 59		

3 経費	事業費(実績)		円	1,135,052	1,810,380	1,338,312	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,253,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成28年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	240,000	649,406	546,200	
		特定財源	円	895,052	1,160,974	792,112	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.02	0.02	0.02	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	164,660	165,340	165,060	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
	事業費+人件費	円	1,299,712	1,975,720	1,503,372		

この仕事における市の裁量 市の裁量は小さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 平成24年度からの風しん流行、先天性風しん症候群の発生増加を背景に、妊婦への感染・先天性風しん症候群の発生を防止するために、緊急事業として実施した。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 平成25年夏以降、風しんの流行は減少し、沈静化しているが、抗体保有者数の割合の増加は確認できていない。

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成29年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について なし

仕 事 の 内 容	先天性風しん症候群対策事業			
担当部署・課長名	健康課	課	予防係	課長名 志村 明子

6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択しご記入ください。(複数回答可)		
	取組みは無い	取組手法 【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換(広報媒体： ) ⑦後援・場の提供 ⑧その他( )	
(2)平成30年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点をご記入ください。		なし	
7 課 題	(1)平成28年度の課題についての解決に向けた取組や、事務改善など、平成29年度に実施したことをご記入ください。		
	予防接種申請後の未接種者及び、過去3年の抗体検査の結果、要接種で未接種者に対し、接種勧奨を行った。 (2)この仕事を振り返り、課題をご記入ください。 ・先天性風しん症候群に対する理解が不足している。 ・予防接種申請後の未接種者がいる。		
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性(「7 課題(2)」を踏まえた具体的な改革・改善案など)		
	・婚姻届を提出された方に対し「先天性風しん症候群」について周知を図るとともに当該事業についてPRのチラシを配布する。 ・前年度未接種者へ勧奨通知をする。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等を具体的にご記入ください。		
・婚姻届提出時のチラシ配布について市民課と調整を図る。 ・前年度に本制度を利用して抗体検査を受けた人の状況を把握し、抵抗体価にもかかわらず未接種の場合は接種を促す。			
(3)改革・改善案による期待成果			
上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
成 果	成果を維持する。	経 費	仕事の経費は維持する。